

第1回企画検討会でのご意見に対する対応状況

資料2-3

第1回企画検討会で頂いた意見から今後のeラーニング整備について方針を整理した。

企画検討会 委員意見概要	今後の方針
● eラーニングは修了要件を設けていないため、受講者が<u>eラーニングの習得状況を確認できる仕組み</u>が必要ではないか。 ● 学習者が<u>自分の活動や学びの状況を確認できるよう、デジタルバッヂやeポートフォリオ</u>のようなものを設けてはどうか。	● 受講者が習得状況が確認できるように<u>確認テストを実施</u>。 ● eラーニングは短期間で不特定多数の方の視聴を目的とするため、個人の特定を行わない形でシステムを構築するが、<u>デジタルバッヂやeポートフォリオ等については有明の丘研修における能力評価において今後検討</u>。
● <u>自治体で職員の受講状況を管理できるページ</u>を設けてはどうか。	● eラーニングは短期間で不特定多数の方の視聴を目的とするため、個人の特定を行わない形でシステムを構築するが、<u>職員の受講状況について、視聴履歴等を担当者に情報共有すること等を検討</u>。
● 受講者同士でコミュニケーションをとることができるよう、<u>受講者間でやり取りや書き込みができるフォーラムを設置する等の双方向性を確保できる仕組み</u>を次年度以降検討してはどうか。 ● eラーニングの中では<u>反映しきれない災害対応の実態</u>について、コンテンツに<u>反映する仕組み</u>があるとよいのではないか。実際に災害対応を経験された職員から、実際、少し違った工夫や仕組みが必要であるなどの経験を収集し、<u>反映することでフィードバックする仕組み</u>を検討してはどうか。	● まずは、<u>アンケートフォームからのフィードバックにより受講者からのニーズ等について把握する</u>。 ● 実災害での経験を踏まえたeラーニングの改善点等、<u>受講者同士で情報共有できる仕組み(例 フォーラム(掲示板))について今後検討</u>。
● コンテンツの追加について、<u>早い時期に公開</u>してはどうか。	● 準備ができ次第、公開する予定。
● コンテンツの追加は<u>どのように広報</u>していくのか。	● 公開サイトのトップページでの案内や、自治体の担当者への連絡等を行っていく。
● 公開の範囲として<u>国の出先機関を含めて</u>はどうか。	● 対象者としては、まず地方公共団体の職員を対象に実施していく。